

金 佑宣 = 第一回監督作品 [脚本] 金 秀吉 / 金 佑宣  
Director: Kim Uson / Screenplay: Kim Soo-Kij / Kim Uson

# 潤の街

Yun  
no  
Machi

けろん 忘れないう君のよもいの街も

姜 美帆 (新人)  
Kang Mi-Boon  
田中 実  
Tanaka Minoru  
井川比佐志  
Igawa Hisashi  
佐藤 允  
Sato Makoto  
李 麗仙  
Li Reison  
光石 研  
Mitsushi Ken  
初井言榮  
Hatsui Kotae

日本映画  
監督協会  
新人賞受賞

日本映画ベネクラブ推薦  
優秀映画鑑賞会推薦  
映倫青少年映画審議会推薦

カンヌ映画祭批評家週間出品作品  
モントリオール映画祭“今日の映画”部門出品作品

企画 金 佑宣 / 松本征二 [プロデューサー] 神成文雄 姜 貞彦 伊藤 良  
撮影 金 徳哲 [照明] 山川 英明 [美術] 丸山 裕司 [録音] 矢野 謙久 [音楽] 毛利 蔵人 [編集] 鍋島 尊 [助監督] 高根 崇博 [製作担当] 佐々木 祐二 [プロデューサー] 金 佑宣  
製作 潤の街製作プロジェクト 株式会社 仕事



# 映

潤の街は人と人との熱い出会いの場である。

# 若

者者の一人、金秀吉は映画『復讐するは我にあり』(今村昌平監督)に深い感動をうけ同監督の主宰する横浜放送映画専門学院現日本映画学校脚本科に入學した。そして一年在学中に自分の青春を重ねあわせたシナリオ『潤の街』を書きあげた。この作品は一九八一年、映画界の芥川賞ともいわれる『城戸賞』に入選する。彼の並々ならぬ才能が世に認められたそのとき、彼はまだ二八歳だった。

もう一人の青年・金佑宣は、早稲田大学文学部演劇科に在学中、ウィスコンティ監督の映画『若者のすべて』に衝撃をうけ、映画作家を志す。新藤兼人、山本薩夫ら名監督のもとで、助監督として演出の修業を重ねてきた。いつの日か、熱い青春の思いをぶつけて自分しか描けない、在日韓国・朝鮮人の視点をもった青春映画を撮ろうと固く心に誓いながら……。彼、二五歳の意欲だった。『潤の街』が発表されたのは、ちょうど同頃頃。そこには偶然にも金青年が思い描いていた青春像がみごとに表現されていた。すくま、ま映画化の申し入れ。二人の金

青年の初めての出会いだった。流れた月日は七年。そして今、才能あふれる若き脚本家と新進気鋭の映画監督の『潤の街』は、ついに完成した。

# も

のがたりは、大阪の運河の流れるバイタリテイあふれる下町で練り広げられる。そこには暮らす潤子(愛称ユン)は、一六歳の高校生。小さな町工場を営む父、お好み焼き屋を開く母、大好きな祖母との四人で暮らしている。通学のかたわら、母親のお店を手伝うユン、明るくエネルギッシュなユンは、近所の人気ものだ。

そんなある日、ユンは母の店近くでアルバイトしている田中雄司に出会う。大学を中退しモラトリアムの生活をしている雄司は、ユンの爽やかな微笑みに心ひかれた。ユンもまた、若者らしいエネルギーを発散させる雄司の姿を無視できなかつた。

自然にデートをするようになる。雄司が熱中するラグビーを応援に行ったり、散歩に出掛けたり……。お互いの思いを語り、将来の夢を語った。人の人とならともにも生きてろたい……。ユンと雄司の間にはほのかな愛情が芽生えはじめていた。か、二人の純粋な思いと人は戸惑った。とくに家族は複雑な反応を見せる。それもこれも、ユンが在日三世で雄司が日本人ゆえのことだった。不幸な歴史のつら重ねのなかで培われてきた深い溝が若、二人を阻む。

「なあ、うちが雄司を好きになるのは、そんな悪いこと?」ユンは人をまっすぐなまなまきで見つめて生きたいと念じる。同時に自分のルーツを大切にしたい。

# 雄

司は雄司でユンを愛する気持ちと、「オレはなんにも知らなかった」という思いを抱く。身の周りで起きるできごとにより揺れながら、ユンの状況に、ユンのいきどろのない思いに改めて気づいたのだ。自分自身に真剣に向きあわさるをえなかつた。

# 若

い日々、自己のアイデンティティを確たるものにしていようと。異性に真剣な思いを寄せれば寄せるほど、苦悩は深まる。本人たちの責任ではない社会状況がさらに拍車をかける。しかし、こんな切なくもきびしい青春の姿を、この映画は明るく爽やかに撮つて余すところがない。これまでの『青春』がテーマになった作品にはない新鮮さがある。



主演・潤子を演ずるのは、数か月に及ぶ主役探しの末、選ばれた新人・姜美帆。青年・雄司は、無名塾出身で『ジャンクル』(日本テレビ系)の刑事役で活躍中の田中実。

# 脇

をかためるのは、ユンのお祖母さん役に「心」の演じられるベテラン女優・初井言榮。ユンの



父親役に幅広く深い演技で定評のある井川比佐志。ユンの母親役は、個性的な存在感のある李麗仙。ユンの実父役が、熟年の不思議な魅力をもつ佐藤允。雄司の親友役に現代なフレイリングあふれる光石研。

主演の二人の若々しいキヤスティングと、ベテラン陣の情感ゆたかな好演があいまって新『青春』映画を創りだしたといえる。

この作品は、感いながらも真摯に生きようとする若者たちにとつて頼もしい心の糧となるだろう。

製作は『潤の街』製作プロジエクトと株(旧・俳優座映画放送(株))。

企画	金 佑宣/松木征二	プロデューサー	神成文雄/姜 貞錫/伊藤 暎
脚本	金 秀吉/金 佑宣	監督	金 佑宣
撮影	金 徳哲	照明	山川英明
録音	矢野勝久	音楽	毛利蔵人
美術	丸山裕司	編集	鍋島博
助監督	高根美博	プロデューサー補	金 佑彦
製作担当	寺野伊佐雄	製作主任	宣伝担当
演出助手	村橋明郎/張 金鐘	撮影助手	喜久村徳明/二本松昭彦/金 利明
照明助手	須永裕之/水野良昭/駒沢義之	録音助手	志満順一/矢野正人
編集助手	福田千賀子	装飾小道具	赤塚 訓
メーキャップ	井川成子	記録	八巻豊子
スチール	野田昌子	製作デスク	椎井友紀子
製作進行	西村宣之	製作	『潤の街』製作プロジェクト 株式会社 仕事
●キャスト			
潤子	姜 美帆	雄司	田中実
貞順(潤子の祖母)	初井言榮	光秀(潤子の父)	井川比佐志
利代(潤子の母)	李 麗仙	チヨンテ(潤子の実父)	佐藤 允
誠(雄司の親友)	光石 研	裕子(短大生)	森 華恵
育子(雄司の妹)	田中伸子	妙子(雄司の母)	西岡慶子
源三(雄司の伯父)	岡村嘉隆	那美(飲み屋の女将)	紅 萬子
刑事	佐々山洋一	刑事	濱崎 満
刑事	松本幸三		

**6月3日(土)より独占ロードショー!**

●特別鑑賞券¥1,200(当日一般1,500円学生1,300円の処)発売中!

当劇場窓口、都内各プレイガイド、チケットぴあ、チケットセゾン他にて

**新宿 シネパトス**  
歌舞伎町コマ劇場広場前 (209)2131

上映時間	12:30	2:35	4:40	6:45
------	-------	------	------	------